



CHIE FUKUDA

福田ちえの市政だより

発行:福田ちえ後援会 事務所:宇都宮市六道町 12-38 電話:028-636-2582 FAX:028-636-2559

http://www.f-chie.jp/ info@f-chie.jp facebook 福田ちえ twitter @fukudachie

急速に少子高齢化が進む日本は、本格的な人口減少・少子高齢時代を迎えました。各自治体では、限られた財源の中で様々な施策を打ち出していますが、人口減少が及ぼす影響は計り知れません。少子高齢時代を乗り切る策として各地で「地域包括ケアシステムの構築」「住民参加型の地域支え合い体制づくり」が進められています。そのためには、行政による地域マネジメント、庁内横断的な取り組み、住民意識の醸成は必須であり、市の今後に期待を込めて質問しました。



6月15日 本会議で質問

1 市長の政治姿勢について

人口減少社会の全庁的な認識と施策の横断的な実施
地域マネジメントと規範的統合、自治会及び地縁組織の活性化

2 地域包括ケアシステムと介護予防・総合支援事業について

住民主体の地域支え合い体制づくり
協議体と生活支援コーディネーターの推進方法

3 ライフステージを通じた予防医療と健康づくりについて

4 空き家の活用について

5 生活困窮者の自立支援を進めるために

一時生活支援事業と中間的就労、子育て世帯の包括的な支援、相談や支援に関する職員の人事

6 人口オーナス(重荷、負荷)期における働き方改革について

7 中小企業振興条例の制定について

8 教育行政について

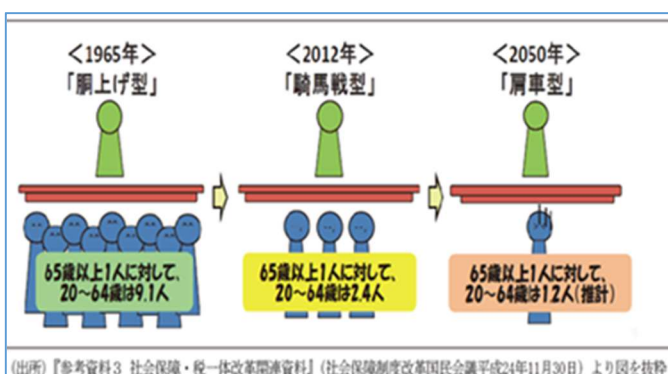
宇都宮市議会HPで、録画と議事録が見られます。

 <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/gikai/>

働き方改革は急務

日本の高度経済成長は、働く人口が多く、高齢者や子どもといった支えられる人が少ない「人口ボーナス」によるものと説明できる。安い労働力を武器に大量生産し供給すると、税収が上がり、インフラ整備と社会保障が進む。収入が上がると教育に費やし子どもは高学歴化する。婚期が遅れ、少子化が進む。現在は人口オーナス(重荷、負荷)期真只中。労働人口の減少や、社会保障制度の維持が困難になってくると、世代間格差の拡大などが指摘されています。少子高齢時代に労働力を確保し、生産性を向上させるには、男女共に働く、短時間で働く、育児・介護・難病・障害・高齢などが働く上で障壁にならない環境の整備は急務です。

○「胴上げ型」から「肩車型」社会へ



○高度経済成長期は人口ボーナス

(出所) NHK



人口ボーナス期: 日本は 1960~90 年頃に終了。中国は間もなく終わり、インドは 2040 年頃まで続く見込み。

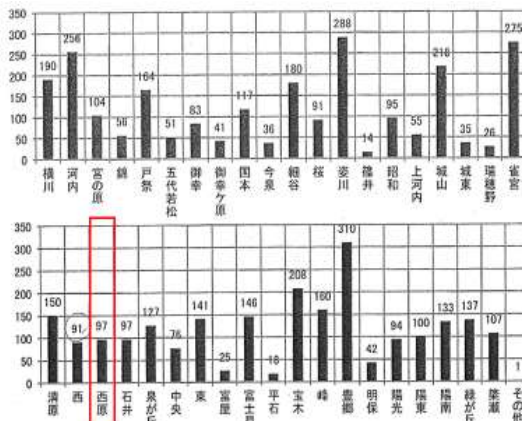
地域包括ケアシステム

重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組み。



宇都宮市の空家事情

B判定3,021件 (65.18%)
が地域の社会資源として有効活用しうる。
(H25 年度調査資料)



人口減少に伴って世帯数も減少するのに対し、新たな住宅の建設は続いており、今後も空き家は増え続けると見込まれます。そのため、空き家を地域コミュニティの維持・活性化を促す地域資源と捉えた活用が急がれており、シェアハウスや福祉施設として活用するための特例措置や条例制定など、規制を緩和していく必要があり、行政の積極的な施策が求められています。



福田ちえ●PROFILE

1965 (S40) 3.16 生まれ O 型 家族構成：夫、娘3人、義母
宇都宮市立西原小学校～宇都宮市立一条中学校～栃木県立宇都宮工業高校～日本工業大学システム工学科卒業 (1987.3)

●これまでの主な経歴

1987～1993 年 足利システムサービス(株) (足利銀行グループ)
2001～2005 年 衆議院議員 水島広子秘書
2007 年 4 月 統一地方選挙 宇都宮市議会初当選
2011 年 4 月 統一地方選挙 当選 (2 期目)
2014 年 12 月～2015 年 老人デイサービスセンターにしはら
2015 年 4 月 統一地方選挙 当選 (3 期目)
西原小学校 PTA 会長／一条中学校 PTA 副会長／宇都宮市 PTA 連合会 常任理事／同 教育課題特別委員会委員長

●現在の主な役職

宇都宮市議会議員 (3 期)／市民連合会 派政調会長／厚生常任委員会／広報広聴委員会／宇都宮市街地開発組合議員／社会福祉審議会委員／一条中魅力ある学校づくり地域協議会／西原小魅力ある学校づくり地域協議会／西原宮っ子ステーション運営委員会会長／チャレンジと愉快な仲間たち代表／村田発條労働組合特別相談役／JAM 組織内議員団／栃木県地方議会女性議員連盟／地域支え合い研究会事務局 (毎月勉強会を開催)

議会内でも地域包括ケアシステムを推進 (4/28)市民連合会派主催

テーマ：「地域包括ケアシステムの構築に向けた市町村の役割」～介護予防・日常生活支援総合事業、地域ケア会議を中心として～

講師：田中謙一氏 元桑名市副市長 (特命) / H6 年厚生省入省 (現厚生労働省)



講演内容

①困難な改革であるが、未曾有の少子高齢社会を乗り越えるために避けて通れない改革。
②介護保険制度の基本理念である「自立支援」という原点に立ち返ってそれを忠実に実現しようとするビジョン。その構築は、住み慣れた環境で生き生きと暮らし続けて幸福な人生の最期を迎えるための地域づくり。

③全員参加型の地域支え合い体制づくり。

④市町村に期待される役割は、地域住民が相互に連携して活動を展開するネットワークを醸成する「地域マネジメント」。とりわけ、基本的な方針を提示してその共有を働き掛ける「規範的統合」が重要。

以上、本市の地域包括ケアシステムの構築に向けて大きな示唆をいただきました。尚、他会派議員、執行部にも参加いただきました。

「地域支え合い研究会」が発足しました。医療・介護・福祉の専門機関、民間団体、行政、地域住民との気づきと学びの場です。一緒に学んでくださる方の参加をお待ちしております。

【連絡先 sasaeikenkyukai@gmail.com】



福田ちえ後援会の行事予定

【ふれあいバス旅行】歴史のまち“会津”

【日 程】10月 22日(日) 日帰り

集合出発7:00、帰り19:00頃

【コース】塔のへつり、七日町通り、日新館・昼食、

リニューアル野口英世記念館、世界のガラス館

【参加費】8,000円 (入館料・昼食込)

【問合せ】福田ちえ後援会 ☎638-2582

